

MCA モニターソフト
DIO 制御ジョブコン取説

この取説は、MCA モニターソフトのジョブコン機能で DIO(デジタル・IN / OUT)ボードの制御を行うための取扱説明書です。

MCA モニターソフトで制御できる DIO(デジタル・IN / OUT)ボードは Interface 社の PCI-2826CV のみとなります。

また、制御を行うには「FBDIO.DLL」の[**Make Version**]が必要となります。

バージョンの確認方法：

1. FBDIO.DLL をマウスで選択します。
2. 選択したまま、マウスの右ボタンをクリックしてポップアップメニューを表示します。
3. プロパティの項を選択します。
4. 「バージョン情報」タブを選択します。
5. 「値」欄に FBI DI/O Board (PCI-2826CV) Control DLL [**Make Version**]と有れば DIO ボードの制御が可能です。

ジョブコン新命令

ジョブコンで DIO ボードを制御するには以下の命令を使用します。

INBIT

DIO ボードの I N 1 ~ I N 3 2 のポートから入力信号を読み込み、入力信号が設定値と同じ場合次のジョブへ進みます。

設定値： DIO ボード番号，チェックビット値

DIO ボード番号：一台使用の場合は 0 を入れます。

チェックビット値： H E X 表現で設定します。

例： 0 , 0 x 0 1

意味：コネクタ番号 I N 1 に入力信号が入力されたら、次のタスクを実行します。

OUTBIT

設定値に対応した DIO ボードの O U T 1 ~ O U T 3 2 ポートへ信号を出力します。
また、設定値内の時間によって信号の変更までの時間が設定できます。

この命令を発行する前に、一度だけ「RESETBIT」を実行します。

設定値： DIO ボード番号，セットビット値，停止時間

DIO ボード番号：一台使用の場合は 0 を入れます。

セットビット値： H E X 表現で設定します。

停止時間：ポートへ信号を出力後、RESETBIT で設定されて設定した出力値を出力するまでの間の停止時間を設定します。

この値は(msec)で設定します。

例： R E S E T B I T 0 , 0 x 0 0

 O U T B I T 0 , 0 x 0 1 , 1 0 0 0

意味：コネクタ番号 O U T 1 に信号を出力し、1 秒経た後全ての出力信号をクリアーします。

RESETBIT

設定値に対応した DIO ボードの O U T 1 ~ O U T 3 2 ポートへの信号出力を記憶します。

ただし、この命令の出力値は「OUTBIT」命令内で実行されます。
また、設定値内の時間によって信号の変更までの時間が設定できます。
この命令は「OUTBIT」命令を発行する前に、一度だけ実行します。

設定値： DIO ボード番号 , セットビット値

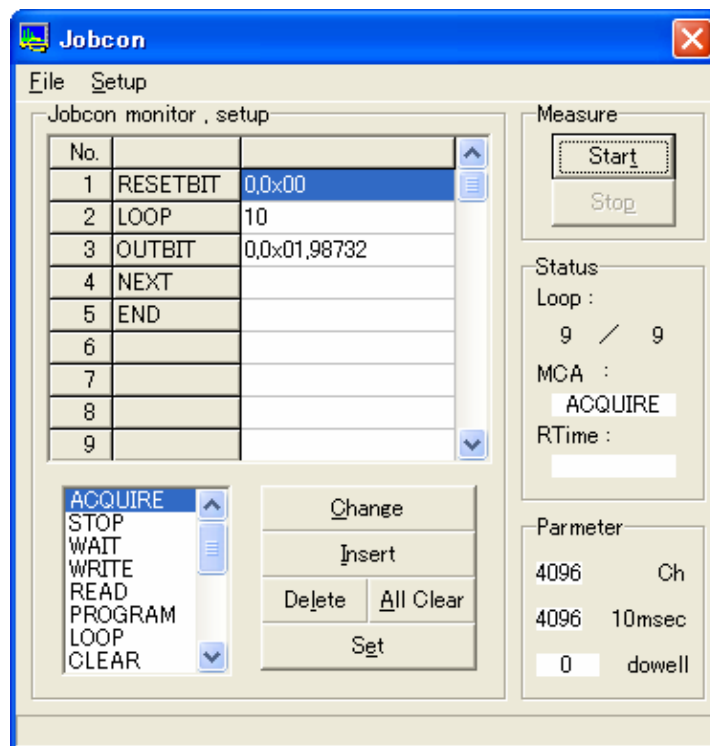
DIO ボード番号：一台使用の場合は0を入れます。

セットビット値：HEX表現で設定します。

例： RESETBIT 0 , 0 x 0 0

意味：「OUTBIT」の出力後全ての出力信号をクリアーします。

ジョブコン例：



意味：

1. リセットビットを「1 P A 0 ~ 1 P A 7 ポート」ポート全てクリアにします。
2. 「LOOP」「NEXT」間を10回繰り返します。
3. 1 P A 0 ポートに 5V 信号を出力します。98732(msec)待ち、リセットビットの内容を発行します。
4. 「LOOP」へ戻ります。